

地域福祉計画に係るパブリックコメントの実施結果

計画の策定にあたりパブリックコメントを実施いたしました。（令和7年12月1日（月）から令和7年12月17日（水）までの期間）

以下のとおり、17件のご意見をいただきました。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

	意見等	回答
1	P11 要支援・要介護認定者数が高齢者人口以上に増加しているのは、対象者の把握が進んでいるためと思われますが、理由を記載してほしい。（このデータだけだと高齢町民の健康状態の劣化という解釈もありえます）	要支援・要介護認定者数の推移等、詳細な分析につきましては、「日の出町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」にて行ってまいります。
2	P12 出生数、合計特殊出生率の2023年の急減の理由を記載するべき。	少子化の問題は全国的なものです。 町における急減の要因はお示しできません。
3	P13 愛の手帳所持者数増加の要因の理由を記載してほしい。H28 174, R3 194 R7 231	詳細な分析については「日の出町障害者計画・日の出町障害福祉計画・日の出町障害児福祉計画」にて行ってまいります。
4	P21-39 アンケートですが、経年変化がわかるものと、わからないものがあります。アンケートは、町の政策の成績表ともいえ、重要事項は同じ設問で経年変化をみるべきものです。改善を願いたい。	アンケートは、ニーズを把握する上で重要な手段と考えますので、次期計画策定時において、さらなる改善を図ってまいります。
5	P31 アンケートでの「自治会に加入の必要性を感じない」の急激な増加はこれまで積み重ねてきた地域重視の町の政策と住民の努力を無にしかねない状況です。自治会に加入することで町民がメリットを感じるべく自治会制度の抜本的強化を検討願いたい。	町としても重要な課題と受け止めております。 自治会の役割やメリットが伝わるよう、自治会と連携し、制度の改善に向けた検討を進めてまいります。

	意見等	回答
6	<p>P32 避難行動要支援者名簿については、以前から有効利用方法が課題となっていました が、今回のアンケートでは「名前も内容も知らない」が特に避難行動を支援してほしい若い 世代で多い結果となっています。有効利用策を具体化してほしい。</p> <p>(注) ⑤、⑥のコメントの担当課は福祉課ではありませんが、「担当課に伝える」という回 答ではなく、町として回答願いたい。</p>	<p>今回のアンケートにおいて、特に若い世代で「避難行動要支援 者名簿の名前も内容も知らない」という回答が多かったことを 重く受け止めています。</p> <p>認知向上と実効性のある活用に向け取組を行います。</p>
7	<p>P15-20 前計画の評価結果についてはおおむね適正とは思いますが、根拠が「自課評価」の みであるのはやはり具合が悪いのではないのでしょうか。次回からは改善願いたい。</p>	<p>前計画の評価結果は策定委員会でもお諮りし、次期計画を策定 しております。PDCAサイクルを通じて、計画の進捗管理を行っ てまいります。</p>
8	<p>P.15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自課評価ということだか、定量的な指標基準が無い中で客観的に適正な評価ができてい るのか疑問に感じる。客観性を担保できる評価の仕組みになっているのであれば、その仕 組みの説明を追記した方が良いと思う。 ・「変化なし」の評価が非常に多く、「継続的に取り組みが進んでいる」ということだか、 社会情勢が変わり急激に人口減少している中で、継続の事項が多いままで良いのか心配にな る。これまでの延長では対応しきれないことを念頭に適時適切な取り組み修正を期待した い。もし修正しているのであれば、それがわかるように表現した方が良いと考える。 	<p>各事業所管課での自己評価を行った上で、策定委員会に諮るこ とで客観的評価としました。客観的に担保できる評価の仕組み は行政計画の課題と考えておりますので、引き続き検討してまい ります。</p>
9	<p>P43の(2)「地域住民が気軽に集まり、交流を深めることができる居場所づくりを推進す ることで、」という同じ文が2回出てくる。冗長的に感じるので修正してもよいかもしれな い。</p>	<p>P.43(2) 2行目「また、地域のつながりを深め、助け合いの精 神を育むことで、より良い地域づくりが期待できます。」に変更 します。</p>

	意見等	回答
10	<p>P.45～59</p> <p>・計画にもかかわらず、各施策において方向性や取り組み姿勢だけで、「いつまでに・どのくらい」という目標指標が無い。「福祉の各分野における共通的な事項を定める上位計画」として、4年間の中で大枠の期間設定・進捗設定があって然るべきだと考えるが、それらは「社会福祉協議会の地域福祉活動計画」で設定されるという位置付けなのか？もしそうであれば、それがわかるように表現した方が良いと考える。</p>	<p>地域福祉計画は分野全体の方向性を示す羅針盤のような要素であると考えます。具体的な目標指標は、分野別の個別計画での設定を想定しており、関連計画を策定している関連部署と連携を図ります。</p>
11	<p>P.45～59</p> <p>・取り組み内容に「～を検討します」という表現が散見される。本計画期間は4年もあるので、検討に留まらず、せめて方針決定に至るような取り組み目標として宣言してほしい。</p>	
12	<p>P.46 ボランティア活動への参加が前提になっているが、アンケート調査にあるように、「忙しくて時間がない」「身近に仲間がいない」世代は活動自体に参加しにくい。日常生活の延長であったり、若者も行きたくなるような楽しいイベントであったり、参加しやすい機会での交流をきっかけに多世代とつながりを持てると良いので、そういった視点での取り組みも期待したい。</p>	<p>町でも多世代とのつながりは重要な視点と捉えております。本計画でも、世代を超えて気軽に集うことができる居場所や仕組みの創出を検討していきます。（P55）</p>
13	<p>P.50 「3 社会参加の推進」について</p> <p>・多世代との交流として、季節の行事（例えばもちつきや七夕など）を通して楽しい時間を共に過ごすことをきっかけに、多世代の知り合いが増えていくような仕組みが欲しい。</p>	<p>多世代との交流機会は様々想定でき、趣味や特技、仕事を通じた交流機会は重要な視点と考えます。本計画でも、生きがいつくり・社会参加の充実に向けて、多世代交流の場や社会参加の機会の創出に向けて、環境づくりを進めていきます。（P49）</p>
14	<p>P.50 「3 社会参加の推進」について</p> <p>・小学校や中学校に、年配の方や働く世代のお父さんお母さんが自らの趣味・特技や仕事について披露して子どもたちと楽しく知り合いになれるような仕組みがほしい。</p>	

	意見等	回答
15	<p>P51「施策の方向性」にバリアフリーやユニバーサルデザインが突然出てきており「現状と課題」とのつながりがわからない。課題から読み進めると「移動手段」がまず最初に来るはず。もしバリアフリーやユニバーサルデザインに取り組むのであれば、その取り組みに必然性があるように、前段までの整理が必要だと思う。</p>	<p>町では、高齢者や障害者を含むすべての町民が安心して暮らせるよう、「ユニバーサルデザイン（UD）に配慮したまちづくり」を都市計画の重要施策として掲げており、現状と課題に追加します。</p>
16	<p>P52アンケート調査でもヒアリング調査でも課題に挙がっている「交通手段」に紐づく施策の「3.交通・移動手段の充実」の今後の方向性は「拡充・充実」と設定されてよいのではないか。</p>	<p>今後の方向性を「拡充・充実」に改めます。 移動手段の確保は課題と認識しており、住民ニーズの変化や高齢化の進行を踏まえ、地域公共交通の利便性向上に向けた見直しを進めます。</p>
17	<p>P57「外国人を含むすべての」の部分 外国人を含むというのは不要。すべてのxxと書いても意味が変わらないのに無理矢理外国人と付記しているのは不自然。外国人と日本人の区別は個別に議論すべき。女性を蔑視するイスラム教の方は明確な区別がなければ日本人女性にとって差別が起きる。</p>	<p>地域共生社会の実現に向けて、包括的な支援体制の構築が求められています。包括的支援体制の整備では、支援の対象を限定していないため、多様性も含め、外国人を含むという形で表現しております。（P57）</p>